

平成23年度「大気環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

推薦者	団体	個人	主な功績
富山県	エコドライブとやま スインキョウキカイ 推進協議会		富山県民及び事業者によるエコドライブの効果的かつ効率的な普及を促進することを目的に設置され、エコドライブ推進大運動として、22年度の目標として県民7万人(県内の運転免許保有者の10人に1人)以上のエコドライブ宣言、事業者による燃料使用量の17年度比で3%以上の削減を掲げ、各構成団体が一丸となってエコドライブの促進、支援、情報提供、普及啓発等を展開した。エコドライブ宣言は計画より早期に目標を達成し、省エネルギー、大気汚染物質の削減等に多大な貢献をした。
長野県		クシタ ヒデミ 栗田 秀實	多年にわたり環境分野に係る調査研究に従事し、特に東北信地域(長野県東北部)において夕方から夜間にかけて出現する高濃度オキシダントの発生原因について、関東地域からの大気汚染物質の長距離輸送によることを解明し、多大な成果をあげた。また酸性雨による中部山岳地域の河川・湖沼への影響を調査するなど、大気環境の保全に多大な貢献をした。
大阪府		ナイトウ イボル 内藤 昇	長年大気環境保全行政に従事し、国に先駆けて窒素酸化物総量規制を導入した大阪府大気清浄化計画の策定及び運用を担ったほか、大気環境保全行政をリードした。府の環境管理室長在任中に、窒素酸化物と浮遊粒子状物質の環境基準を初めて府内全測定局で達成するなど多大な貢献をした。
福岡県		シモハラ タカアキ 下原 孝章	道路沿道の高濃度のNOx、化学物質類を除去することを目的に、平成12年から高活性炭繊維(Active Carbon Fiber: ACF)を用いたフェンスの研究開発を長年にわたり行ってきた。この研究成果が大阪市内の道路沿道において施工されるなど、交通渋滞による大気汚染の解消に寄与した。また、本技術は、中国、トルコでの国際協力事業等において取り上げられ、国内外の大気汚染防止に多大な貢献をした。
熊本県		イマムラ オサム 今村 修	長年にわたり熊本県のみならず、地域における降下ばいじん、浮遊粉じん調査、一般大気環境調査、酸性雨調査及び煙道排ガス調査等分析業務を担当しながら、多くの調査、研究に携わり、多数の報文、資料を発表し、高い評価を得た。また後年は、主に保健環境科学研究所の要職にあって、大気・水環境等の調査・研究を継続する傍ら、中堅若手研究員の育成に努めるなど多大な貢献をした。

団体 1

個人 4

合計 5